

## ▶令和3年度 稚内北星学園大学後援会総会を開催しました

5月20日(木)、新館1401教室にて、後援会総会を開催いたしました。今村光壹会長挨拶の後、以下の7項目について審議が行われ、すべて提案通り承認されました。

- ① 規約の変更について
- ② 役員改選について
- ③ 令和2年度事業報告について
- ④ 令和2年度収支決算報告について
- ⑤ 令和2年度監査報告について
- ⑥ 令和3年度事業計画(案)について
- ⑦ 令和3年度収支予算(案)について



## ▶秋季卒業証書・学位記授与式を挙行しました

9月2日(木)にネパールからの留学生5人に対し、秋季卒業証書・学位記授与式を執り行いました。

コロナウイルス感染症感染対策のため、略式で行った式では、一人ひとりに卒業証書・学位記を授与した後、オンラインで京都より松尾英孝学長の式辞、工藤広稚内学長の祝辞代読のあと、卒業生代表のスペディ・ラメッシュさんより送辞を述べ、満足なく無事終了しました。



## 教員を紹介します①



稚内北星学園大学  
副学長 佐賀 孝博

いつもお世話になっております。副学長の佐賀孝博と申します。大学ではプログラミングをはじめとした情報科学を教えています。また、縁あって2008年から稚内高校で教科「情報」を担当させていただいており、稚内大谷高校とも高大連携の一環として年に数時間「情報」科目を教えています。本学ではキャリア支援室長という立場もあるので、キャリア教育の授業も担当しています。これまでにもインターンシップや講話等でたくさんの企業の方にお世話になりましたが、もし仕事内容を学生へ伝えたいなどのご要望がありましたらお知らせください。学生にとっても視野を広げる良い機会ですので、業界説明／インターンシップ／企業訪問など学生とかかわりをもつていただけそうな方策を考えていきたいと思っています。

いつもお世話になっております。副学長の佐賀孝博と申します。大学ではプログラミングをはじめとした情報科学を教えています。

また、縁あって2008年から稚内高校で教科「情報」を担当させていただいており、稚内大谷高校とも高大連携の一環として年に数時間「情報」科目を教えています。

本学ではキャリア支援室長という立場でもあるので、キャリア教育の授業も担当しています。これまでにもインターンシップや講話等でたくさんの企業の方にお世話になりましたが、もし仕事内容を学生へ伝えたいなどのご要望がありましたらお知らせください。学生にとっても視野を広げる良い機会ですので、業界説明／インターンシップ／企業訪問など学生とかかわりをもつていただけそうな方策を考えていきたいと思っています。

## 寄付ありがとうございます

多大なるご支援・ご寄贈いただき、深く感謝申し上げます。  
(2021年4月1日～9月15日)

### ■学生への生活支援等

- ・(株)そうべい様  
全学生への支援として、お米を寄贈していただきました。
- ・中央水産(株)様  
全学生への支援として、食品を寄贈していただきました。
- ・稚内ネパール友好協会様  
ネパール留学生への支援として、在学生に対して食堂利用券、秋季卒業生に対してお祝金を寄贈していただきました。

### ■図書の寄贈

- ・山本建設(株)代表取締役 菊池工様
- ・東京大学大学院数理科学研究科教授 儀我美一様

在籍学生数  
(2021年5月1日現在)

125名  
(内留学生 50名)

稚内本校 102名  
京都サテライト 23名

## 編集・発行 稚内北星学園大学後援会

住所 北海道稚内市若葉台1丁目2290番地28

電話番号 0162-32-7511

ホームページ <https://www.wakhok.ac.jp/>

## 稚内北星学園大学後援会

会報 No.1 2021年9月30日発行



## HOT NEWS

### ダブル 「地方の時代映像祭」「北海道映像コンテスト」で映像作品W入選

太平洋戦争終戦直後に樺太で起きた看護師集団自決を取り上げた学生制作ドキュメンタリー「あの日、ニレの木の下で」が、ジャーナリズムに優れた作品を表彰する第41回「地方の時代」映像祭2021と、「北海道映像コンテスト」において、ダブル入選を果たしました。

この作品は集団自決生存者のインタビューや手記で構成されています。

作品は稚内市樺太記念館で展示上映されておりますので、ぜひ足をお運びください。



撮影時の様子

## ご挨拶

学校法人北辰学堂理事長の松尾英孝でございます。稚内北星学園大学の再建を通して稚内の教育・産業に貢献すべく奮闘中です。

本年度から京都サテライト校も設置し、稚内本校との両輪で本学の今後100年の基盤を作る所存であります。優秀な人材を育成し本学を地元への人材供給基地にするためには、後援会や商工会議所をはじめとする地域の方々のご助力が欠かせません。みなさまとともに稚内を若者が集う活気あふれる町にできることを念じております。



学校法人北辰学堂  
稚内北星学園大学  
理事長 学長 松尾 英孝

本学は来年度より「育英館大学」として新たなスタートとなります。これまで同様、みなさまとともに歴史を刻んでいきたいと考えております。引き続きご支援・ご助言のほどよろしくお願ひいたします。

## 盛況！オープンキャンパス開催 !!

8月1日(日)に開催したオープンキャンパスでは、市内の稚内高校、稚内大谷高校をはじめ、札幌・留萌の高校生が参加しました。

午前は、マドラー(株)代表取締役社長の成田智哉氏が「地域のポテンシャル -境界を超えて世界をかき混ぜる先の未来」と題し、成田氏の経験などを交えて講演されました。

その後、学食体験、大学説明・生活体験説明・サークル紹介、模擬授業体験（オープンラボ）などで、大学の雰囲気を体験し、魅力に触れました。

参加者からは「オープンラボがとても楽しかったです！図書館でも大学生の方々が気軽に話かけて下さってとても嬉しかったです」「先生方や先輩方もとてもやさしく分かりやすい説明でした」などの声をいただきました。



## 進学相談会に参加しました

高校生を対象とした大学・短期大学・専門学校の進学相談会に本学も参加しました。

相談コーナーに来た高校生に、大学説明や入試、資格、就職などについて説明しました。

稚内会場では、本学学生が飛行制御研究会の概要を説明し、飛行シミュレーターを使って、飛行操縦体験を実施しました。

またドローン飛行の実演をしたところ、参加した高校生は「すごい！」と歓声を上げながら見ていました。



## 理事長も高校訪問しています

松尾英孝理事長が来稚した際は、市内及び宗谷管内の高校を訪問し、校長先生や進路指導の先生と、育英館グループの概要・本学の魅力・今後の展望について積極的に意見交換を行っています。

今後も、できるだけ多くの高校を訪れ、多くの学生が本学に入学するようにPRを続けていきます。



## eスポーツ部 始動 !!

本学の「e-Sports 部」は、2021年4月に誕生しました。今後e-sportsは、オリンピックの正式種目の1つとなる可能性も示唆されています。

「e-sportsとは？」というご質問を良く頂きますが、基本的には「PC、テレビゲーム（ファミコン、プレステ）を用いて行われる電子上の対戦競技」ことを指します。具体的には、サッカー、野球、自動車レース、パズル（トリニティ）など多岐にわたるもののが含まれます。そのため、情報メディア学部を有する本学と「非常に親和性の高い部活」が誕生したと言えます。

今後の学生たちの活躍にご期待ください。



## プログラミングで飛行制御！飛行体も一から作成 !!

稚内北星学園大学では、IoTゼミ（張江ゼミ）の研究活動として自動飛行制御に取り組んでおり、教育活動の一環として学生有志が集い飛行制御研究会「最北の蒼空」を発足させました。

活動内容は、第17回全国学生室内飛行ロボットコンテスト（通称：飛行ロボコン）出場を目指し、機体の制作・自動飛行プログラミングの研究をしています。

飛行ロボコンは複数の部門に分かれしており、「最北の蒼空」は、飛行操縦技術が問われる“一般部門”、自動飛行による課題解決能力が問われる“自動飛行部門”的2部門への参加を想定しております。

飛行ロボコンでは1から機体を制作する必要があるため、設計図の製図から活動をスタートさせました。5ヶ月間にわたり主翼、胴体、尾翼の作成、フィルム張りの工程で試作機の開発に取り組みました。チームとして主体的に“楽しみ”ながら目標に向かって活動しております。

また、今年度から教育用ドローンであるTelloを購入し、授業や飛行制御研究会の活動に活用する予定です。



## プライベートオープンキャンパス開催中

本学では、参加者が希望しやすい日時に個別に大学を体験できるよう、プライベートオープンキャンパスを企画いたしました。

プログラムは学食体験、キャンパスツアー、オープンラボ（模擬授業）入試＆奨学金等相談です。参加費はもちろん無料です。

会員の皆様のご子息・お知り合いの高校生の方がいましたら、是非ご紹介いただき、一人でも多くの学生の確保にご協力ください。

